

「健康長寿あいちの実現」 をめざして



あいさつ

本県の高齢化率（65歳以上人口）は21%を超え、かつて経験したことのない超高齢社会に突入しようとしています。特に75歳以上の後期高齢者の急増が見込まれます。

「生涯を通じて健康でいきいきと過ごす」ことは、すべての県民の願いであり、目指すべき姿です。著しく進展する高齢社会においては、すべての県民が共に支え合い、高齢になっても元気で生きがいをもてる社会であることが求められます。

こうした中、昨年国は第4次健康づくり対策として、「健康日本21（第2次）」を発表し、「健康寿命の延伸」を次期対策の中心課題といたしました。この際公表された都道府県別の健康寿命において、本県の男性は1位（71.74年）、女性は3位（74.93年）と高い結果となりました。

このことは、県民の皆様が主体的に健康づくりに取り組み、関係者が努力を重ねてきた結果と喜ばしく受け止めるとともに、今後も「健康長寿あいち宣言」が目指す、長生きしてよかったと思えるあいちを実現するため、更なる延伸を図ってまいりたいと考えております。

そこで、このたび「健康日本21あいち新計画」を策定しました。

この計画では、今後10年の健康づくり施策の進むべき方向と主要な取組を示し、「健康日本21あいち計画（第1次計画）」において問題提起された課題を踏まえた上で、「健康格差の縮小」や「病気の重症化予防」といった健康づくりの新たな視点を加え、健康寿命をさらに延伸させ、高齢者が元気なあいちを目指してまいりたいと考えております。

県民の皆様をはじめ、計画の推進に関わる関係機関、関係団体等におかれましては、この計画の趣旨を御理解いただくとともに、推進に御協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成25年3月

愛知県知事

大村秀章